

令和元年度 ちょっと一言

平成31年4月12日(金)

4月、桜が満開です。ここのところ入園式、入学式があり、新年度の始まりが感じられました。まだしつけられていない子供たちの無邪気な様子を眺めながら気がつくことができました。

最初から落ち着き払っている子供がいる反面、初めてのことでパニックになっているような子供もいます。幼稚園や保育園へ行くようになるとどこかほっとする保護者のかたもいらっしゃると思います。でもその分、接する時間が少なくなります。一緒にいる一瞬一瞬を大切に子供と向き合うとそれだけで親の思いは分かります。

子供は生まれた瞬間から一人の人間としての尊厳を有しています。それは親であればなおさらその人間の尊厳を大切に授かった命を育ててあげたい。

今日保育園児が、勉強にやってきました。「おはようございます。」「よろしくお願ひします。」としっかりとした大きな声で元気よくホールの方へ行きました・・・。

平成31年4月28日(日)

10連休が始まり、時代は「平成」から「令和」へ変わろうとしています。学校や会社、地域の団体などが新しい組織で気持ちも新たにしているのではないのでしょうか。

新しい役をもらった人もいることでしょう。最初はたくさんのお仕事を引き継ぐので混乱することもあるでしょう。でも人のすることです。なんとかあります。ただ引き受けた以上は、任期の間全力で取り組むことが大切だと思います。やるからには意欲を持って自分のこととして取り組みましょう。

考え方を変わると、継続する中で自分の味を出すことが大切だと思います。大きな変化はないけれど代替わりは少しずつ新しい風を吹き込むことにもなります。さあ一人一人の力を出し合って頑張っていきましょう。

平成31年4月30日(火)

先日、たくさん雨が降って水路に久しぶりにたくさん水が流れました。途中で除塵機という水路に捨てられたゴミなどを集める装置があるのですが、そのゴミを確かめに行ったら、ビニール袋に入った瓶・缶・残食などがいっぱい山積みになりました。各自がきちんと処分すればそういったことは起きないはずですが、本当に気楽にゴミを川に流す人がいる。こんな時人間の傍若無人な振る舞いを腹立たしく思う。

捨てる人、捨てない人、拾う人のうち、一番すごいのは拾う人です。でも捨てない人になれば拾う人は必要なくなります。いったん自分の物となった場合、責任を持って取り扱う義務がある。それを「所有する自由」というのである。

令和元年5月1日(水)

本日、「令和」の時代が始まりました。

私たちはどんな時代にしていきたいのでしょうか。平和で争いごとがなく、事故・事件の少ない時代を一番にあげる人が大多数だと思います。人が営むことによって起きる出来事は、人が常に心がけて行動すれば、きっと素晴らしい未来が開けると思います。

釈迦が悟りを開いたとき「唯我独尊」といったといいます。これは自分だけが尊いという意味ではないと思います。その続きに、この自分と同じだけ他の人も尊いという言葉があると思います。社会活動の基本はこの自他双方の尊厳を高めていくことではないでしょうか。

令和元年5月15日(水)

先日、山陽新幹線に乗って博多へ行きました。車窓から見える景色は、なんと言っても新緑の素晴らしさです。1本1本の木々がある存在感を出すために少しずつ違った緑色の葉っぱの色で賑わいます。田んぼはというと麦秋の風景であったり、水を張った田んぼで会ったり、畦の草をきれいに刈ってあったり、今まさに耕したばかりの状態であったりします。畑は夏野菜の植え付けで忙しく働いておられる方もたくさんおられました。

毎年同じような景色が見られるわけですが、放置された田畑も目立つようになりました。人の営みがなくなったら風景は一変するのだらうなと思いました。荒れ果てた大地を想像すると何か今まで生きた人たちの思いが失われていく気がします。当たり前をやってきたことをこれからも当たり前やっけていこうと改めて思う。

令和元年6月15日(土)

今日は、久しぶりの雨です。明日この地域のふれあい町民運動会が地域の小学校であるのですが、予定していた準備ができそうにありません。午後からの雨が心配ですが、明日は晴れると言うことなので早朝から準備して地域の皆さんに集まっていたきたいと思います。

先日、その運動会の実行委員会がありました。68名の方が、日曜の夜にもかかわらず来てくださいました。約二時間本番に向けての打ち合わせをしました。今年は、野添コミセン区21自治会の内、20自治会からの参加があり、大変うれしく思います。こういったイベントをきっかけとして人々が親近感を持ってこの地域で過ごせることがいざというときに大きな力を発揮するのだと思います。

令和元年6月23日(日)

6月16日(日)、ふれあい町民運動会が、蓮池小学校でありました。前日の激しい雨が嘘のように良い天気にも恵まれ、800名の方が参加してくださいました。実行委員は総勢80名ほどです。記録の写真をみるとスタッフジャンパーを来ている人の数の多いこと。年々協力してくださる方が増えていることは、やはりこの地域が培ってきた繋がりのおかげではないでしょうか。

準備から本番まで、いろいろ頭を悩ますこともありましたが、たくさんの人の笑顔を見るとやはりとても大切な行事だなあと感じました。この機会に知り合いになった方との親交も始まったかもしれませんね。

令和元年7月11日(木)

梅雨も本番、毎日うっとうしい日が続いています。でも、みんなで何かをすると人のパワーをもらいます。>

播磨町では、水辺のクリーンキャンペーンを7月7日に行いました。私も地域の池の清掃活動に参加しましたが40名ほどの人が集まって次から次へと枯れ草やゴミを集めていく姿を見て何か爽快感を感じました。一人でやったら1日でも終われそうにないことが40分ほどで終わりました。これが集団の力、地域の力だと思います。

今、夏まつりに向けて準備を進めているのですが、昨日も20枚の立看板にポスターを貼ってそれをビニールフィルムで覆う作業をしたのですが、数人が集まってわいわいやっているといつの間にか終わっていきます。本当に楽しい時間が過ぎていきます。ありがたいことです。

令和元年8月7日(水)

今年も暑い夏がやってきました。夏と言えば夏まつりですね。8月3日(土)16時から『のぞえ夏まつり』が実施されました。

8月2日(金)は、午後3時から前日準備を2時間あまりしましたが、平日にもかかわらず40名以上の方が集まってくださり、会場のラインを引いてテントと櫓を組みました。

8月3日(土)は、朝8時から80名ほどの運営委員が集まって準備をしました。机や椅子を入れたり、提灯をつけたり、1時間ほどで準備をしました。みんなの力が集まると本当にすごいなあと思いました。

『のぞえ夏まつり』は延べ6000名の参加者があり、無事盛大に行うことができました。最後の総踊りでは、それまでの出演者も地域の若者も一緒になって300名ほどの輪ができました。若い子たちが祭りを盛りあげていることもこの地域の特徴だといろいろな夏まつりに出演される方がおっしゃっていました。この祭りが次の世代に引き継がれていくといいなあと思いました。

令和元年8月16日(金)

昨日、台風10号が日本を襲いました。お盆と言うことでたくさんの方の予定や計画を変えなければいけなかつたろうといろいろ想像されます。

海で高波にさらわれた方、増水した川に足を取られて溺れた方などたくさんの方の犠牲者もおられる。しかし何でこんな日に海や川へ行くのだろうか。自然の驚異を知らないのだろうか。あれだけ報道されている情報も役に立っていないのだろうか。命は一つしかないのに軽々しく扱われているような気がする。もっと臆病になればいいと思う。

この頃自分のものなど結局一つもないと思います。自分の体も自分のものだと思って使っているけれど体を作っている無数の原子は常に入れ替わっている。そう考えると仏教で言う「無常」という言葉の意味が見えてくるような気がする。だからこそこの常に変化している自分も愛おしく思える。

さらに大切にしたい家族がいる。大切にしたい人がいる。だからこそその人たちのために自分ができることを考えてみよう。自分と自分の周りの人たちが幸せになるために自分ができること

って何だろう。

令和元年8月20日(火)

先日、滋賀県高島市へ行ってきました。白鬚神社の近くに中江藤樹記念館というのがありました。江戸時代初期の近江聖人「中江藤樹」の私塾藤樹書院のあったところです。

武士、町民、農民など、どのような身分の者にも陽明学を教えた人のいたところだそうです。中学校時代に社会科の歴史で勉強したこともある人もおられると思います。いつの時代もどう生きるべきか人間として常に学び考えていかねばならないことです。

今の自分を見つめ、自分の考え生き方を常に向上させるよう一人一人生きることが、よりよい地域や社会ができていくことにつながっていきます。多様な価値が認められることは生きやすい環境を作ってくれるのは確かに良いことです。どれだけ生きやすい環境が整っていこうが満たされた思いは人の心の中にその人自身が思うしかない。

令和元年9月17日(火)

9月も半ばに入ったというのに、まだまだ暑い日が続いています。千葉の方では台風15号の影響で今だにたくさんの方が不自由な生活を強いられています。1日も早い復旧を願っています。

いつも当たり前にある生活が、突然の事故・事件・災害でなくなってしまったとき、人は日常の大切さを痛感します。普段の生活が戻ってくると今度は日常の生活の不平不満を思うようになります。もし、普段の生活の中で非常時のことを意識できたらもっと高いレベルでの日常を送るようになるのではないのでしょうか。

今は当たり前ではなくたくさんのいろいろな人の努力と協力によって成り立っているのではないのでしょうか。社会の一員である以上、たくさんの人の当たり前の仕事によって支えられているのではないのでしょうか。目の前の食べ物、いろいろな道具、機械、サービスなど、これらは全て人が生み出しているものなのです。それらに支えられていると感じたときほっとしませんか。

令和元年10月16日(水)

台風19号が日本を襲い、各地で大きな被害を受けました。1日も早い普段の生活ができるように心から祈っています。

先日、地域の話し合いで日本という国は本当に細やかな心配りや助け合いの精神があるのはどうしてかというのが話題になりました。ある方が、それは春夏秋冬の季節の変化や大きな自然災害を前に人々がその一瞬一瞬を精一杯生き抜いてきたからだと言っておられました。

「頑張れ!!」という言葉がっらく感じる方もおられると思いますがとにかく生き抜いてください。「明けない夜はない。」必ず朝はやってきます。

令和元年10月29日(火)

秋の収穫も終わりに近づき、播磨地方では10月に秋祭りが盛大に行われます。昔からの伝統を引き継ぎ持続している祭りがある一方で、地域の活性化を狙って自治会の子ども会などの団体が

まとまって祭りを行っているところもある。

10月20日(日)の本宮では野添住吉神社には、8自治会の御神輿が宮入している。多くの人の集まるお祭りはやはり心が躍る。担ぎ手が心一つにして屋台を持ち上げる姿は、そこに居合わせた人々に感動を与えてくれる。野添コミュニティセンターでは、今その祭りのビデオをロビーで紹介しています。もしよかったら見に来てください。

令和元年11月3日(日)

11月3日は文化の日です。コミュニティセンターは、地域文化発信の拠点とされています。当野添コミセンでもギャラリーでは、毎月、地域の作家による作品を掲示しています。さらに、来る11月16日(土)～17日(日)には、各サークルの作品展示がほぼ全部の部屋を使って行われます。

私も館長になって三年目になりますが、本当に力作ばかりです。是非立ち寄っていただければ幸いです。ただ、駐車場がありませんのでご了承ください。

16日(土)には、舞台での発表が9時30分からです。11時頃から地域の産物であるたこ飯やプチかつめしなどを販売します。17日(日)には、あらかじめ募集しておいた地域の小学生に食の大切さを教えます。餅つきも行います。詳しくはのぞえコミセンだより11月号をご覧ください。

令和元年11月29日(金)

いよいよ11月も終わりに近づいてきた。冬型の気圧配置で近くの小学校の桜の葉っぱもしっかり赤く色づき、朝コミセンにやってくると昨日の大風で吹き溜まりに一杯落ち葉が集まっていました。地域のおばあさんがそれを一生懸命集めてビニール袋に詰めていました。きっと畑の堆肥として使おうと集めておられるのだろう。

学校周辺の美化にもなるし、野菜の栄養にもなるし、私も先日同じことをしていたので、ここにも同士がいるのだなあと思いました。ちょっとした工夫でお互いが助かることって他にもあるのではないだろうか。そう思っている反面、時々コミセンの中に放ってあるコンビニの袋に悲しい思いをすることもある。

令和元年12月4日(水)

12月1日、野添コミセン区連合自治会防災訓練が行われました。今年は、いざというときに役に立つ知識を専門家から教えていただこうと日本赤十字社兵庫支部の協力を得て、一時救命処置と傷の手当てに絞って講習を受けることにしました。分かっているようでなかなかきちんと学習できていない内容です。講習をやっている人たちは本当に真剣にやっていました。三角巾の使い方ではいろいろな部位の出血を抑える方法などをしていましたが、楽しくやっておられる方、中にはうまくできなくて何度も繰り返し練習をされる方など、身につく学習でした。

講習をしている間、炊き出し班が非常食のわかめご飯と豚汁の用意をしていました。講習が終わる頃にきちんと効率よく配れるよう手配していました。

今年で連合自治会としての訓練は2回目ですが、昨年以上にコンパクトな訓練になりました。

積み重ねることによって少しずつ改善しながら訓練することの重要性を感じました。

令和元年12月22日(日)

今日は12月22日、1年で一番昼の時間が短い冬至の日である。地域の風習として昔から、ゆず湯に入るとか、冬至カボチャを食べるとか。皆さんの家庭ではどうでしょうか。

私は個人的には、この日から、新しい年が始まるような気がします。小さいときから自然の多いところで生活してきたせいか日の出日の入りの変化が分かるのです。気温だけを考えると一番寒いのは2月なのですが、昼間が少しずつ長くなっていくだけでわくわくした気分になってきます。クリスマスやお正月を迎えるのもテンションを高めてくれると思います。

今年もいろいろありましたが、地域の皆さんのおかげでたくさんの行事を成功させることができました。日常ではたくさんの方々や野添コミュニティセンターを利用させていただきました。淡々と気持ちよく時間が流れているとき、本当に幸せだなあと感じます。当たり前の日常が過ぎていくことに感謝し、来年も生きていきたいものです。

令和2年1月15日(水)

新年あけましておめでとうございます。2週間ほどが経ちましたが、今年の始まりはいかがでしたか。こちらでは、1月13日(月)の朝から、新春の集いが蓮池小学校のグラウンドで行われました。地域の住民の新年の挨拶の場として3kmと5kmの歩こう会とその後のとんど焼きを行っています。歩こう会に参加された方がかえってこられるときからぜんざいも500名分振る舞われています。今年は西風が強く心配しましたがとんどもうまくできました。詳しくは行事の新春の集いのボタンをクリックしてください。その様子を見ることができます。

いつも思うことですが、この行事をするに当たって地域の自治会役員の方や積極的にボランティアをしてくださる方々に支えられて新春の集いが実施できました。ボランティアは総勢100名ほどです。ただ参加するだけでなく、運営側に回ることで新たな関係も生まれてきます。是非これからもよろしくお祈りします。

令和2年1月26日(日)

今年の冬は、雨が多い。関西のスキー場では雪不足で関係者は大変困惑しているようです。毎年同じことが行われるということはそれだけで大変幸せなことだと思うのです。身近なことから言えば、朝起きたとき、「今日も生きている。」と思えたとき「今日も一日頑張ろう。」と思う。

見る者全てが当たり前の景色だが、その一つ一つは人々が精一杯営んでいる成果の集合体と考えられます。ひとたび活動をやめたところは荒れ果て朽ち果てていくのも現実です。また、そこに自然に草木が生え野性に返っていくのも当たり前だと思えるようになってきました。

裏返して考えれば、一人一人の人の心がけ一つで身の回りの空間は思う方向に近づけることができます。人にはそんな力が与えられています。それをしっかり考える必要があると思うのです。

令和2年2月16日(日)

今日は朝から雨が降っています。近くの蓮池小学校の体育館で午前中は、カローリング体験会を実施しました。48名の参加があり、和やかな雰囲気の中、あっという間の三時間が過ぎていきました。1年に1回、合同で日頃の練習の成果を出す機会なのですが、年々上達しているのがよく分かります。勝ち負け関係なしの交流会ですので笑い声あり、拍手ありの素敵な時間が流れました。

午後は、コミュニティセンターに戻り、このホームページをまとめています。誰が見ているか分かりませんが、継続は力なりということでできるだけ記録をして皆さんに発信していこうと思っています。いろんなページに入ってください、見ていただけたらうれしいです。そして参加するだけでなく、安心して地域で生きていくために自分たちでしたいことを実現していくコミュニティ作りをしていきませんか。

令和2年2月29日(土)

新型コロナウイルスによる影響が大きく出てきています。そもそもウイルスは、自分だけでは増えることができない。他の生物にくっつくことによって増えます。今の社会では、人の移動が短時間に広域に広がる。1日もあれば、全世界中に人は移動できるのである。今回の世界的な影響は、当然のことだと考えられます。

今一人一人がどう行動するかで結果が変わっていく。そう考えると感染拡大を防ぐには人の移動を減らすことしかない。集まる機会も減らすしかない。今、学校園の休校の問題が深刻になっているが、理論的に考えれば、正しい方向である。しかし、現実の場面では、数々の弊害もある。今まさに現代人の我々に与えられた試練だと思います。

地域のコミュニティ作りもこの非常事態においては、今は我慢の時だと思います。皆さん不要不急の外出や集まりは避けていきましょう。またこれを機に家庭の中で前向きに過ごすことを個々に考えていくことも大切ではないでしょうか。様々な心情があると思いますが今は我慢だと思います。

令和2年3月13日(金)

昨日、新型コロナウイルスの感染拡大はWHOがパンデミック(世界的流行)に入ったと言っています。感染拡大を押さえ込めるかどうかは、どの国も国家ではなくそこに住む一人一人の衛生に対する文化で決まると思います。国家はそれによって起きる損失や補償を考えたり、社会の安全保障を構築し直したりしていく道筋を立てるだけだと思います。

マスク一つをとっても人の弱いところについて利益を得ようとする人がいる一方で、無償で分かち合っている人たちもたくさんいるのではないのでしょうか。それこそ一人一人の人間性が問われているのだと思います。本当に我慢と助け合いが本当に大切なのだと思います。

今、一番試されているのは一人一人の日常です。こういったときに日常の生活の中にしっかりとした軸を持って生活することが大切です。日常を見直してみてもうどうでしょうか。

野添コミュニティセンターも利用者の方々に利用の自粛をお願いしています。期間は今のところ3月31日(火)までとなりました。引き続きご協力お願いいたします。